

国立研究開発法人森林研究・整備機構の令和6事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	農林水産大臣による令和6年度の総合評価が「A」評価であり、中長期計画に対して業務が順調に進捗していると判断されたこと等を踏まえ、評価結果による特段の人事は行わなかった。
----------	--

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	農林水産大臣による令和6年度の総合評価が「A」評価であり、中長期計画に対して業務が順調に進捗していると判断されたこと等を踏まえ、評価結果による役員報酬の増減は行わなかった。
----------	--

3. 法人の運営、予算への反映について

大項目	令和6年度における主な指摘事項	令和7及び8年度の運営、予算への反映状況
法人全体に対する評価	<p>研究開発業務においては、国の政策や社会的ニーズを反映しているかなどの評価軸に照らし顕著な貢献や成果が多く得られており、社会問題解決を支える科学的エビデンスの提供や社会還元にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>広報活動の促進やダイバーシティ推進に向けた取組の充実など、国立研究開発法人として適正、効果的かつ効率的な業務運営</p>	<p>第5期中長期目標期間で設定した研究開発の成果の最大化に向けて、学術論文の公表に加え、さまざまな媒体を通じて科学的知見に基づいた情報の発信を行ってきたところである。また、ダイバーシティ推進に関しても、「プラチナくるみん」の取得に目処が立つなど、着実な実施をしている。</p> <p>令和8年度から開始した第6期中長期目標期間においても、これまでと同様に研究開発成果の最</p>

	<p>を行っており、国民の期待に的確に応えている。</p>	<p>大化のための取組を引き続き行うとともに、ワークライフバランスを考慮した取組も積極的に進めていく。</p>
--	-------------------------------	---